

## 第2回 親子でスノーケリング



### 1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

親子を対象に、スノーケリングを通して、海辺の生き物や環境への関心を高め、家族間のふれあいを深める。

○ 実施期間

平成30年9月8日(土)～平成30年9月9日(日) 1泊2日

○ 対象者・参加者数(人数/定員)

年長児及び小学1・2年とその保護者 3組6名/10組20名

○ 活動プログラム

9月8日[土]	9月9日[日]
12:45 海の駅とろむ 集合・受付	6:00 起床・洗面・清掃
12:55 海浜活動センターへ移動	7:15 朝のつどい(正面広場)
13:10 海浜活動センター着 着替え、準備	7:30 朝食(食堂食)
13:30 日程説明・活動説明	8:30 自由時間
13:40 スノーケリングについての説明	10:00 流木クラフト
14:00 スノーケリングマスクの洗浄	11:30 おわりのつどい
14:15 マリンブーツに履き替え グローブのフィッティング	
14:25 マスクのフィッティング スノーケルクリア練習 ウェットスーツ着用	
15:10 移動	
15:20 スノーケリング(とろむ)	
15:50 活動終了・移動・片付け	
16:20 海浜活動センターへ移動	
16:45 とろむへバス送迎	
17:30 自然の家 着 タベのつどい(正面広場) 夕食(食堂)	
18:30 オリエンテーション(オリ室)	
21:00 就寝	

### 2. 活動の様子

<1日目>

当日は、悪天候が予想されたが、午後からは晴れ間も見え、無事スノーケリング活動を行うことができた。まず、海浜活動センターでスノーケリングマスクの正しい使い方や保存方法について学んだ。また、水槽を活用し、親子で協力してスノーケルクリアの練習も行った。初めは上手にできない子供もいたが、繰り返し練習をすることで、正しいスノーケルクリアの仕方を身に付けることができた。その後、室戸岬新港のとろむでスノーケリング活動を行った。親子でバディとなり、海にいる様々な生き物を観察した。魚の模様や色に注目して、楽しみながら活動している姿が多く見られた。



### <2日目>

2日目は、雨天のため、スノーケリング活動から流木クラフトに変更した。紙やすりを3種類使用し、自分で選んだ流木を時間をかけて磨き上げた。親子ともに熱中して活動に取り組む姿が見られた。最後の仕上げにオリーブオイルを塗って、オリジナルの流木キーホルダーを作ることができた。スノーケリング活動を行うことはできなかったが、流木クラフトの活動を通して、親子のふれあいの時間を十分にとることができた。



## 3. 事業の成果と課題

### ○ 参加者の感想

- ・ 天気が心配だったが、無事1日目にスノーケリング活動ができてよかった。
- ・ ボランティアが、子供と仲良く遊んでくれて嬉しかった。
- ・ いろいろな模様の魚を見ることができてよかった。
- ・ 流木クラフトをお土産として持って帰ることができてよかった。

### ○ 事業の成果

- ・ スノーケリングの活動を通して、親子でふれあう機会をとることができた。
- ・ スノーケリングマスクの洗浄や保存方法について、正しい知識を身に付けることができた。
- ・ 普段は経験することのできないスノーケリング活動を通して、様々な海の生き物を観察することができた。

### ○ 事業の課題

- ・ 第2回親子でスノーケリングでは、10組20人募集のところ、3組6人の参加者で事業を行った。台風の影響もあり、参加者を確保することができなかった。チラシの配布時期や事業の実施日を再検討する必要があると感じた。
- ・ 今回は、急遽、雨天時のプログラムとして流木クラフトを行ったが、事前の計画段階で活動内容をしっかりと決めておく必要がある。参加者の感想でもあったように、スノーケリングができない場合に、魅力あるプログラムを提供できるように準備しておく必要があると感じた。